

 学会告知板

緊急シンポジウム「うつ病克服へのロードマップ」

日時 2011 年 4 月 10 日(日) 13～15 時(開場 12 時半)

場所 新宿明治安田生命ホール(東京都新宿区西新宿 1-9-1 明治安田生命新宿ビル B1F)

主催 日本うつ病学会, 日本生物学的精神医学会, 日本心身医学会

共催 日本精神神経学会, 日本精神神経科診療所協会, 日本精神科病院協会, 日本神経精神薬理学会, 日本統合失調症学会, 日本アルコール精神医学会, 日本臨床精神神経薬理学会

参加自由・無料

がん・循環器病と並ぶ三大疾患である精神疾患。中でも最大の問題がうつ病です。しかし、うつ病をめぐるさまざまな情報が飛び交い、私たちは道標を失いかけているのではないのでしょうか。私たちがいかにしてうつ病を克服できるか、それが今、問われています。

司会 野村総一郎(防衛医科大学校精神科学講座教授)

岩波明(昭和大学医学部精神医学教室准教授)

パネリスト

「国民病としてのうつ病～自殺・長期休職」

樋口輝彦(国立精神・神経医療研究センター総長)

「身体疾患とうつ病」

久保千春(九州大学病院病院長)

「うつ病健診の波紋～職域でのうつ病の対応を巡って」

尾崎紀夫(名古屋大学医学系研究科教授)

「うつ病報道とコミュニケーションギャップ」

谷田部雅嗣(NHK 解説委員)

「認知行動療法と抗うつ剤の真の効果」

古川壽亮(京都大学大学院医学研究科教授)

「認知症とうつ病～神経病理学の観点から」

柳澤勝彦(国立長寿医療研究センター研究所副所長)

「うつ病を解明せよ！～脳科学の観点から」

加藤忠史(理化学研究所脳科学総合研究センターチームリーダー)

「うつ病の専門医とは何か～うつ病センター構想」

神庭重信(九州大学大学院教授)

問合先(平日 10～17 時) 日本うつ病学会事務局

☎ 03-3263-8697

Fax 03-3263-8693

e-mail : jsmd@secretariat.ne.jp